

## 運賃及び料金の適用方法

### 1. 運賃の適用方法

#### (1) 旅客運賃

- ① 片道旅客運賃は、旅客が船室に片道1回乗船する場合に適用する。
- ② 往復旅客運賃は、旅客が船室に往復1回乗船する場合に適用する。

#### (2) 貸切運賃

- ① 貸切運賃は、旅客が船舶の定員を下回る人数で、専用して利用する場合に適用する。

#### (3) 小児旅客運賃

- ① 次の旅客には、小児旅客運賃を適用する。
  - ア 小学校に就学している小児
  - イ 大人に同伴されずに、又は団体として乗船する1歳以上で小学校に就学していない小児
  - ウ 大人に同伴されて乗船する1歳以上で小学校に就学していない小児であって大人1名につき1人を超えるもの
- ② 1歳未満の小児の運賃及び大人に同伴されて乗船する1歳以上で小学校に就学していない小児（団体として乗船するものを除く。）の運賃であって大人1名につき1人分は、無料とする。
- ③ 小児旅客運賃は、大人運賃の半額とし、10円未満のは数は、切り上げとする。

#### (4) 通学等旅客運賃

- ① 通学定期旅客運賃は、次に掲げる学校等の学生及び生徒等が本人所属の学校長等から交付を受けた通学証明書を提出した場合又は通学定期乗船券購入兼用の身分証明書を提示した場合に適用する。
  - ア 学校教育法第1条の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、特別支援学校及び幼稚園（通信教育を含む。）
  - イ 上記ア以外の国公立の学校
  - ウ 学校教育法第124条及び第134条第1項の私立学校
  - エ 児童福祉法第39条の保育所
- ② 通学若しくは通園のために乗船する場合は、免除。

#### (5) 定期旅客運賃

- ① 定期旅客運賃は、旅客が同一区間を多数回乗船する場合に適用し、1か月の乗船回数を60回で算定した額から10分の8を乗じて得た額とする。

#### (6) 大島に住所を置く住民に対する運賃

- ① 大島に住所を置く住民に対する運賃は、大島に住所を置く住民であり、官公署発行の写真付身分証明書（運転免許証等）を提示した場合に適用し、旅客運賃の2分の1を割引く。

(7) 団体旅客運賃

- ① 一般団体旅客運賃は、旅行目的及び行程等を同じくし、かつ、同一区間を同一便で旅行する者で構成された15名以上の旅客が乗船する場合に適用し、旅客運賃の10分の2を割引く。
- ② 学生団体旅客運賃は、旅行目的及び行程等を同じくし、かつ、同一区間を同一便で旅行する者で構成された15名以上の小学校、中学校、幼稚園、保育所の児童、生徒、園児等とその付添い人で、これらの者が所属する学校等の長から申込みのあった場合に適用し旅客運賃の10分の3を割引く。

(8) 回数旅客運賃

- ① 回数旅客運賃は、旅客が同一区間を多数回乗船する場合に適用し、乗船区間の片道旅客運賃の5倍の額とし、券片数は6枚とする。
- ② 回数旅客運賃は、旅客が途中下船した時は、前途の区間は無効とする。

(9) 受託手荷物運賃

- ① 受託手荷物運賃は、旅客がその乗船区間について運送を委託する手荷物1個を、片道1回運送する場合に適用する。
- ② 受託手荷物は、3辺の和が2m以下で、かつ、重量が30kg以下のものとし、旅客1名につき2個までとする。
- ③ 受託手荷物券は、旅客が途中下船したときは、前途の区間は無効とする。

(10) 小荷物運賃

小荷物運賃は、荷送人から運送の委託を受けた小荷物1個を、片道1回運送する場合に適用する。

(11) 身体障害者に対する運賃

身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）に基づく身体障害者手帳の交付を受けている者が身体障害者手帳を提示した場合には、2分の1を割引く。

介護者については、身体障害者1名について当市職員が認めた介護者1名又は当市職員が必要と認めた人数の介護者が乗船する場合には、それぞれ2分の1を割引く。

(12) 知的障害者に対する運賃

療育手帳制度要綱（昭和48年9月27日厚生省発児第156号厚生事務次官通知）に基づく療育手帳の交付を受けている者が療育手帳を提示した場合には、2分の1を割引く。

介護者については、知的障害者1名について当市職員が認めた介護者1名又は当市職員が必要と認めた人数の介護者が乗船する場合には、それぞれ2分の1を割引く。

(13) 精神障害者に対する運賃

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）に基づく精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者が精神障害者保健福祉手帳を提示した場

合には、2分の1を割引く。

介護者については、精神障害者1名について当市職員が認めた介護者1名又は当市職員が必要と認めた人数の介護者が乗船する場合には、それぞれ2分の1を割引く。

(14) 運賃割引の重複適用

運賃の割引で2以上の割引条件に該当する場合は、身体障害者、知的障害者及び精神障害者に対する運賃を除いて、重複して適用しない。

(15) 運賃のは数処理について

運賃は、10円を単位とし、割引後の10円未満のは数は、切り上げとする。